

授業評価 2014 (後期) T1E: 工学部都市環境システム学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.74(2015-04-08) by Yas

2014 年度後期 工学部都市環境システム学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1E004001	プログラミング言語	1 年後期月曜 3 限	檜垣 泰彦	T1E 1
T1E015001	都市居住計画	2 年後期月曜 6 限	森永 良丙	T1E 2
T1E029501	基礎地盤工学	3 年後期水曜 6 限	関口 徹他	T1E 3
T1E031101	システム性能評価	2 年後期月曜 3 限	塩田 茂雄	T1E 4
T1E038101	環境ビジネス	3 年後期水曜 3,4 限隔週 2,4	(木村 諭史)	T1E 5
T1E043101	都市空間計画	3 年後期金曜 6 限	柘植 喜治	T1E 6
T1E045201	構造力学 II	2 年後期月曜 1 限	近藤 吾郎	T1E 7
T1E048101	情報工学基礎	2 年後期火曜 3 限	荒井 幸代	T1E 8
T1E049001	信頼性工学	2 年後期火曜 6 限	山崎 文雄	T1E 10
T1E068101	通信工学概論 II	3 年後期金曜 4 限	吉村 博幸	T1E 11
T1E088001	情報数学 II	2 年後期火曜 4 限	岸本 渡	T1E 12
T1E098003	都市空間工学演習 II	3 年後期土曜 2,3 限	(藤谷 英孝) 他	T1E 13
T1E101001	環境エネルギー化学工学	3 年後期木曜 6 限	小倉 裕直	T1E 14
T1E106001	環境マテリアル工学	3 年後期月曜 5 限	和嶋 隆昌	T1E 15

授業科目名	: プログラミング言語
担当教員	: 檜垣 泰彦
年次・開講時限	: 1 年後期月曜 3 限
授業コード	: T1E004001
授業アンケート	: 回答者数 17 人 / 受講者数 27 人 (回収率 63%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 17 件)

「はい」が 7 人、「ややそういえる」が 6 人で 75%以上がおおむね適切であったと答えている。引き続き、授業 1 回につき、1 章のペースで進めたい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 17 件)

「はい」が 4 人、「ややそういえる」が 7 人、「どちらともいえない」が 5 人という結果となった。過半数は肯定的だが、そうではない受講生も 35%ほどいる。より丁寧な説明を心がけたい。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 17 件)

「はい」が 9 人、「ややそういえる」が 7 人でほぼ全員が肯定的であった。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

今年度は例年より受講生が少なかったが、受講生は全般に熱心であった。

3. その他のコメントや連絡事項

今年度から教科書が新版になったため、一部の資料の改定が追い付かなかった。新版では全般として、アルゴリズム系の話が少なくなってしまったため、次年度からは別途補いたい。

作成(者): 檜垣

授業科目名	: 都市居住計画
担当教員	: 森永 良丙
年次・開講時限	: 2 年後期月曜 6 限
授業コード	: T1E015001
授業アンケート	: 回答者数 39 人 / 受講者数 75 人 (回収率 52%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 39 件)

本授業の特色である具体的事例をふんだんなスライドで解説する項目は, 高い評価を得ている。今後とも工夫を凝らしたい。

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 39 件)

総合的評価の項目である「理解」「満足」など授業全般に関しては, 平均以上の比較的高いポイントの回答を得ている。

Q29. この授業で良かった点について記入してください。 (回答 6 件)

「板書がきれいで見やすかった」「住宅の具体例などがたくさん紹介されたこと」「時折先生が生徒に質問し, 考えさせていたところ」等, 今までの工夫・改善などが反映されていると考えられる。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 3 件)

一方で, 風邪で声が出ずマイクを使用した回があったが, 「声が聞こえないことはなかったが, マイクを使った回の方が聞き取りやすく良かった」との記述もあった。大教室なのでマイクを使用しなかったが, 今後要検討である。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

主に毎年度評価されている項目は, 内容の理解への工夫や具体的な事例等の提示に関するものであり, 毎年, 講義内容の改訂を行っているが, 引き続き検討していく。

### 3. その他のコメントや連絡事項

都市居住, 住宅, 住環境に関する基礎知識とアイデアを得られるような授業を目指している。生活者としての教養も身につけられるような内容なので, 自分の専門分野ではなくても気兼ねなく受講してください。

作成(者): 森永良丙

授業科目名	: 基礎地盤工学
担当教員	: 関口 徹, 中井 正一
年次・開講時限	: 3 年後期水曜 6 限
授業コード	: T1E029501
授業アンケート	: 回答者数 15 人 / 受講者数 25 人 (回収率 60%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 14 件)

平均 4.64

意識していたつもりだったので良かった。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 14 件)

平均 3.36

理論や数式を使った話が多いが, より理解しやすいように工夫していきたい。

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 14 件)

平均 4.50

比較的高いようであるが引き続き改善していきたい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

回答率が 60 % と決して高くないので忘れずに最終回の講義でアナウンスしたい。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 関口徹

授業科目名	: システム性能評価
担当教員	: 塩田 茂雄
年次・開講時限	: 2年後期月曜 3限
授業コード	: T1E031101
授業アンケート	: 回答者数 27人 / 受講者数 59人 (回収率 46%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 1件)  
難易度を少し下げる方向で、次年度以降、授業の内容を改訂したい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

3. その他のコメントや連絡事項

3年生の授業「数理計画法」とやや内容が重複しているので、重複部分を減らす方向で授業内容を調整する。

作成(者): 塩田

授業科目名	: 環境ビジネス
担当教員	: 木村 諭史
年次・開講時限	: 3 年後期水曜 3,4 限隔週 2,4
授業コード	: T1E038101
授業アンケート	: 回答者数 6 人 / 受講者数 13 人 (回収率 46%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 6 件)

参加型の授業であり、Q 29 のコメントにあるように『学生間で活発に議論できるような場があった点。他の講義では殆どこのような機会がなかったため、面かった』という評価もある一方、学生からの質問は個人差が出たと思われる。

今後は、こちらからの問いかけ、学生からの返答だけでなく、もう一度学生から教員に質問を投げ返してもらい、2 回・3 回のキャッチボールを想定して学びにつながるような題材や授業構成を考えたい。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは、見やすかったですか? (回答 6 件)

スライドが見やすい、授業内容が理解できる、といった内容には高評価が得られている。

一方で、スライドが見やすいだけであると、授業内容が流れていくように感じられるので、きちんと立ち止まって作業できる、自分たちのノートで書き込めるようなスライドも増やしていく予定である。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 1 件)

『授業内で出来上がった案を 1 回の議論にかけて済ませるのでなく、何回か再考するプロセスも実践してみたかった』とのコメントがあったので、シラバスおよび一回の授業内の時間配分を見直し、学んだスキルによって前後の変化が実感できたり、授業を一環して掘り下げていけるような授業編成を考慮したいと思います。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業内容についてはおおむね高評価であり、例年と同じか少しずつ良くなっている可能性がある。全体の 2 割に満たないかもしれないが、学生の理解度のばらつきもあるため、より充実した授業内容・わかりやすく、かつ考えさせられる例題を厳選していきたい。

### 3. その他のコメントや連絡事項

教員側が資料を全て用意するのではなく、学生自身のスマートフォンやタブレット端末などで調べながら、グループワークをしていくスタイルが確立してきた。

学生同士の討論や、こちらからの投げかけで、環境ビジネスの裏にある考え方や、既存事業の問題点なども非常にうまくとらえてくれており、こちらの授業の仕掛けだけでなく学生の素質に助けられている授業でもある。

授業時間帯が水曜日 3・4 限であり、選択必修とかぶっているため、2015 年度から金曜日の同時間に移動し、より多くの学生が受講できるようにしたい。

作成(者): 木村諭史

授業科目名	: 都市空間計画
担当教員	: 柘植 喜治
年次・開講時限	: 3 年後期金曜 6 限
授業コード	: T1E043101
授業アンケート	: 回答者数 5 人 / 受講者数 13 人 (回収率 38%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 4 件)

講義内容に関連して、可能な限り画像や動画を連携させて都市空間をを把握できるように務めた。

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 4 件)

都市空間の計画デザインに関連する国内外の様々な事象、実際のプロジェクトを紹介した。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 4 件)

授業ではデザインコンペに参加、それをプレゼンテーション、コメント、ディスカッションする形をとった結果、授業時間以外にもデザイン作業の時間を要した。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

実際のデザインコンペに参加することで、学外への見識を広め、より客観的な視点で都市の多様な問題点と解決策を導く手法を学んだ。

3. その他のコメントや連絡事項

国内外の実際の都市デザインに関する具体的な事例を多数紹介することで、アップデートなデザインの動向を把握できるようになったことが大きな特徴である。

作成(者): 柘植 喜治

授業科目名	: 構造力学 II
担当教員	: 近藤 吾郎
年次・開講時限	: 2 年後期月曜 1 限
授業コード	: T1E045201
授業アンケート	: 回答者数 41 人 / 受講者数 68 人 (回収率 60%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 39 件)

教室の大きさと受講生数に対して十分な声量のつもりですが、後方の方に着席する受講生が多く前の方へ移動するよう何度か注意しましたが効果がなかったようです。

マイクの使用も考えます。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 40 件)

きれいな板書は苦手ですので資料を配布しています。

演習問題は解答を写すのではなく解く際の考え方を理解すればよいと考えています。

基本的には演習問題は自分で解くことを想定していますので、これを徹底しようと思います。

Q12. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか? (回答 39 件)

月曜の朝 1 限はなかなか大変だと思いますが、すこし実情と違うような気がします。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

かなり高度な内容と思いますので、段階ごとに理解度の自己確認が必要と思います。

3. その他のコメントや連絡事項

受講生の能力が高いので設定した目標達成度には満足していますが、構造力学 1 の内容を発展させますのでそこで習ったことを復習して授業に臨むとより効率的ではないかと思ひます。

作成(者): 近藤吾郎



授業科目名	: 情報工学基礎
担当教員	: 荒井 幸代
年次・開講時限	: 2 年後期火曜 3 限
授業コード	: T1E048101
授業アンケート	: 回答者数 21 人 / 受講者数 25 人 (回収率 84%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 21 件)

「Q7, その他」の記述から判断するに, プロジェクタ光源の弱さ(老朽化)に原因があるため, 教員の守備範囲外である.

早急な対応をお願いします.

Q8. Q7 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 2 件)

こちらも講義室の装備に関する指摘である. 2015 年度は別の講義室とします.

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 21 件)

多くが 1 時間未満. それでも試験結果をみれば, 毎回ではなくとも復習をして知識は定着していると思う.

むしろ「4 時間以上が 1 名」に驚いた.

準備学習(予習)については私に責任がある. 講義スライドの掲載が講義直前のため, 準備学習をしたくてもできなかったのであろう.

以後は, スライドの公開を早めにするとともに, 講義後に次回の予定と準備しておくべきことを明確にすることによって, 充実した 90 分を共有したい.

たとえば, 次回講義する内容の「応用分野」を示すなどの工夫によって, とかく単調になりがちな理論の説明が興味深いものになるかもしれない.

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 20 件)

満足していただいたようなので, 引き続き新しい話題を盛り込みつつ, 専門基礎として身につけるべき知識の提供に努める.

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

今年はとても意識が高い学生さんが多く, 本質的な理解をしていただいたように思います. 残念なことは, 2006 年頃は学科のほぼ 100%, 志向する領域に関わらず, 選択していただいていたことが, 年々, 早々に領域を特化し, それ以外は選択しない傾向が強くなっています.

本講義は「情報 = 計算機」ではなく, 情報を的確にとらえて意思決定するための方法論を扱う工学的な基礎を提供していますので「工学基礎」の一つとして位置づけて是非, 履修していただくと卒業研究には必ず貢献する知見となると自負しています.

基本的に私の役割は, 基礎理論が「巷の最新技術」にどう結び付くかを説き,

学生さんの役割は「教科書の内容は, 自身で理解し」と「巷の技術を超える技術に使えるか?」へと敷衍すること, と考えています.

### 3. その他のコメントや連絡事項

予定していた講義室が改修のため, 2014 年度についてはスクリーンの暗さなど環境が適切でなかった点, 大変申し訳ありません.

2015 年度からは別講義室となります.

【2015 年度選択を考えている皆様へ：】スライド，たとえ話については，最新の研究と絡めて構成していきます．情報と直結しているデータマイニング，統計的手法，また，間接的ではありますが防災における情報処理，災害時避難における情報のリアルタイム処理．さらにフロアプランなど都市のデザインにも利用可能な基礎的知識であることを示すたとえ話を盛り込みますので，履修選択の参考にしてください．

作成(者): 荒井 幸代

授業科目名	: 信頼性工学
担当教員	: 山崎 文雄
年次・開講時限	: 2 年後期火曜 6 限
授業コード	: T1E049001
授業アンケート	: 回答者数 33 人 / 受講者数 55 人 (回収率 60%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 31 件)

本科目に対する回答の平均値は 4.16 で、学科平均 4.35 よりやや低かった。もうすこし、講義のスピードを下げたほうがいいのかもしい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 29 件)

平均値 3.55 と例年より低く、学科平均 3.86 を下回った。毎年同じ内容の講義をしているのに、年度により学生の質や熱意に違いがあるのを感じる。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 29 件)

平均値 3.90 と例年より低く、学科平均 4.14 を下回ったのは残念である。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

正直言って、H26 年度はやる気が見られない学生が多数いて、授業が楽しくなかった。授業というのは、学生と教員の相互作用であり、両者ともに反省材料があると感じた。

### 3. その他のコメントや連絡事項

都市環境の学生は数学、物理などの理数系の科目を好まない学生が多く、とくに H26 年度はその傾向が強かった。ただし、試験の結果を見るとできている学生と、できない学生に二極化していることがわかる。したがってこれ以上内容を簡単にすることには抵抗がある。H27 年度は、スライドを換えるスピードを遅くすることに心がけ、授業の途中に例題を解いてもらうなどしたい。

作成(者): 山崎文雄

授業科目名	: 通信工学概論 II
担当教員	: 吉村 博幸
年次・開講時限	: 3 年後期金曜 4 限
授業コード	: T1E068101
授業アンケート	: 回答者数 15 人 / 受講者数 24 人 (回収率 63%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q10. 授業では宿題, レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか? (回答 15 件)

冬休みにレポート課題を課したのですが, 授業の理解を助けるのに大いに役立ったようです。年明けの授業で解説を行いました。

Q11. 授業内容の量を考慮すると, 進度は適切でしたか? (回答 15 件)

進度は適切であったとの回答が多数でした。前回の授業内容を思い出してもらうため, 授業の初めには復習を必ず行っています。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 15 件)

7 割以上の受講者が質問しています。このことも授業の理解を助けるのに役立っているように思います。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

基礎知識があまりなくても, 授業にきちんと出席している学生は授業内容の理解度も概ね高く, 評点も概ね高い傾向にあります。つまり, 学習到達度が高いといえます。また全体的に, 授業に対する満足度も高いようです。

### 3. その他のコメントや連絡事項

電磁波, アンテナ, ケーブル等, 通信工学で使用されているものの基礎全般について知りたい意欲のある方に, 受講をおすすめします。情報セキュリティのお話もあります。授業内容で不明な点があったら, 授業後でも, 居室を訪ねてきてもらっても, 電子メールでも構いませんので, 遠慮なく質問してください。それから, 本アンケートの回答率が 6 割程度とまだ低いので, 授業を受講された方はきちんとアンケートに回答するようにしてください。

作成(者): 吉村博幸

授業科目名	: 情報数学 II
担当教員	: 岸本 渡
年次・開講時限	: 2 年後期火曜 4 限
授業コード	: T1E088001
授業アンケート	: 回答者数 15 人 / 受講者数 28 人 (回収率 54%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 1 件)

板書の読みにくさについては毎年指摘されており、改善をするように心がけているがまだまだ不十分であることが分かった。板書改善するためには時間的に余裕をもった授業の進行が効果があるのではないかと考えを現在もっており、来年度に向けてどのような方策が良いか検討をしている。教室の大きさに対する不満は今年度は講義室の改修工事の影響で少し狭い部屋を使わざるを得なかったため、次年度にもとの大きさの部屋に戻った上での結果をみて改善策を検討したいと考えている。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業の内容とテストの難易度のギャップが大きいとの指摘があったが、今年度についてはギャップは小さかったのではないかと考えている。教科書の例題、演習問題、授業最後の小テストと類似の問題が多かったため、この指摘は今年度についてはあてはまらないのではとの印象がある。また、授業内容を基に教科書の演習問題などを解いてみる程度のことは受講者にはしてもらいたいと考えている。

### 3. その他のコメントや連絡事項

授業内容についてのリクエストが記述されていたので、そのような要望にも答えたいと思うが、科目の性質上、広く浅く授業を行わなければならないので悩んでいるところである。また、授業中の小テストを友人と相談しながら解くことは良いことであると思うが、他人の解答をそのまま写しただけ(しかも写し間違えている)の提出物を見ると悲しくなる。

作成(者): 岸本渡

授業科目名	: 都市空間工学演習 II
担当教員	: 藤谷 英孝, 丁 志映
年次・開講時限	: 3 年後期土曜 2,3 限
授業コード	: T1E098003
授業アンケート	: 回答者数 12 人 / 受講者数 16 人 (回収率 75%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 12 件)

授業は前半・後半課題からなるが、昨年度と比較して後半課題の時間を確保するために、前半課題の時間を短縮したことから、前半の進度が早いと感じる学生がいたと考えられる。そのため、今後、後半課題の都市分析を短期間で終えることで、進度の調整を行う。

Q24. 内容に見合った十分な実験・実習時間が確保されていましたか? (回答 2 件)

授業の形式は講義ではなく演習であり、特に、後半課題においてはグループ作業であることから、構成員相互の時間調整が求められる。そのため、これからは授業においても、作業時間が多く確保できるように工夫する。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

都市空間に関する演習においては、講義の計画、環境、構造・設備などの知識を踏まえたうえで、具体的な空間表現が必要になるため、学生の自主的な取り組みが求められる。今回の授業アンケートから、学生の授業以外での作業時間が多く取られていることが確認できたが、さらに積極的に質問できる環境をつくることが重要だと考えられる。

### 3. その他のコメントや連絡事項

同じ演習課題であっても、それぞれの学生によって問題の捉え方、その解決方法、計画提案が異なるため、学生個人の問題意識、意見を活かした提案を導けるように試みている。また、集合住宅の計画を主としながら、都市分析・提案方法についても実習することから、多面的に建築・都市を捉えることが可能になることを目指している。

作成(者): 藤谷・丁

授業科目名	: 環境エネルギー化学工学 ((旧名称「エネルギー化学工学」))
担当教員	: 小倉 裕直
年次・開講時限	: 3 年後期木曜 6 限
授業コード	: T1E101001
授業アンケート	: 回答者数 11 人 / 受講者数 19 人 (回収率 58%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

多くの評価についてほぼ 4 以上であり何とか努力の成果が出たと思われる。特に、「3 教員の声はよく聞こえましたか?」、「5 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか?」、「10 授業では宿題, レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか?」、「12 あなたはこの授業にどの程度出席しましたか?」等は評価が高く、実際の環境問題における処理工程では、各種計算の基礎として物理化学および化学工学の基礎概念で習得したものが大いに役に立つことを踏まえ、学問基礎と実例の関連を挙げながら説明したことが良かったと思われる。基礎概念は理解して式を使う、ことを目標としたが、複雑になりすぎる各種計算式の誘導などは避けた。多方面にわたる参考書からオリジナルのストーリーを作り、主にパワーポイントによる解説を行った。このような努力が学生の理解を高めることに役だったと判断する。

アンケート結果における理解しにくいと感じられている点については、来年度からは他の講義との連携を深めて物理化学、化学工学の基礎分野は復習的に行い、応用的な部分を中心に適切な進度にしたい。さらに授業の理解を深めるために、宿題、中間レポート、学生の調査発表等も今後も多めに活用したい。

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

### 3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 小倉 裕直

授業科目名	: 環境マテリアル工学 (旧名称「環境・エネルギー材料」)
担当教員	: 和嶋 隆昌
年次・開講時限	: 3 年後期月曜 5 限
授業コード	: T1E106001
授業アンケート	: 回答者数 23 人 / 受講者数 45 人 (回収率 51%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。(回答 2 件)

今年度は時間が足りずに方程式の導出については自習としましたが、次年度は時間配分を変えて授業中に導出させ、提出させたいと思います。

休講についてはレポート課題とともに事前連絡をしておりますので、よろしくお願いいたします。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業内容に関しては、なるべくシラバスを意識して進めておりますが、授業の進行や講師の先生の都合などにより適宜変更しております。学生に合わせて行っている変更ですので、ご了承願います。

3. その他のコメントや連絡事項

大変興味を持って受けていただいているようで有難いです。次年度は、少し工学的な話を増やす予定ですのでよろしくお願いいたします。

作成(者): 和嶋隆昌